

令和5年度 県民提案型協働創出事業 募集テーマ一覧

No.	募集テーマ（名称と趣旨）	担当課
1	<u>青少年の「ふるさとへの愛着醸成」に向けた体験・学習活動の推進</u> ○県の最重要課題である人口減少問題の克服に向け、若年層の県内定着・回帰の促進を図るためには、ふるさとが持つ自然や文化、都会にはない秋田の魅力を青少年に伝え、ふるさとへの愛着を醸成する取組を県全体に波及させていく必要があります。 ○そのため、県や県内の各青少年育成関係団体等との連携・協働により、小・中学生を対象とした、 ・県内に数多くある「誇れるふるさと」を再発掘し、秋田の魅力を知ることができる体験活動 ・地域の自然や文化、魅力への見識を深める学習活動 ・これらの活動を通じて感じた秋田の魅力やこれからの秋田についての考えを、参加した子どもたち自身の生の声で発信してもらい、取組の成果を県全体に波及させる活動 など、青少年の「ふるさと秋田」への愛着の醸成につながる企画提案を募集します。	あきた未来創造部 次世代・女性活躍 支援課
2	<u>子育て支援情報のプッシュ型発信 ～市町村・学生・企業と連携した情報発信～</u> ○現在、子育て情報は、県の公式Webサイト「いっしょにねっと。」や公式Twitter、公式Instagramで県、市町村、各団体の子育て情報の発信やあきた子育てふれあいカードの協賛店情報を発信しているものの、県のアンケート調査によると「いっしょにねっと。」の利用率は5%に満たない状況であり、現状では県の子育て情報は子育て家庭に十分に届いていないことが課題となっています。 ○また、若年層の県外流出から本県の少子化が進んでいる現状もあり、学生の県内定着に向け、学生による起業支援にも取り組む必要があります。 ○そのため、県内の学生による子育て家庭やあきた子育てふれあいカード協賛店のニーズ調査や取材により秋田県版の子育て応援アプリを開発し、県内の子育て支援情報（育児相談、遊び場、イベント、あきた子育てふれあいカード協賛店情報等）を発信するとともに、県内学生の起業支援にもつながる企画提案を募集します。	あきた未来創造部 次世代・女性活躍 支援課
3	<u>「あきた発酵伝導士」の活用促進</u> ○県では、令和2年度～4年度の3年間、「あきた発酵カレッジ」を開催し、秋田に受け継がれてきた豊かな発酵食文化を伝承し、その魅力を県内外に情報発信する「あきた発酵伝導士」を159名育成してきたところです。 ○昨今、新型コロナウイルス感染症の5類移行による観光需要復活が強く見込まれることから、その受入体制強化が必要であり、あきた発酵ツーリズムにおいては、「あきた発酵伝導士」活用の必要性が高まっています。 ○そのため、「あきた発酵伝導士」の活用促進により、あきた発酵ツーリズム観光客の増加を見込める継続的な取り組みの企画提案を募集します。	観光文化スポーツ部 食のあきた推進課

No.	募集テーマ（名称と趣旨）	担当課
4	「あきた白神認定ガイド」の活用推進 ○県では、高齢化などにより減少傾向にあった白神ガイドを育成するため、平成30年度より「あきた白神認定ガイド」の養成・認定を実施してきました。 ○しかしながら、コロナ禍により、実際にガイディングする機会が激減したこともあり、認定されたガイドの活用推進やレベル向上につながる活動に結びついていません。 ○そのため、「あきた白神認定ガイド」の認知度の向上と活用推進により、登録30周年を迎える世界自然遺産白神山地への来訪者増加につながる企画提案を募集します。	生活環境部 自然保護課
5	世界遺産縄文遺跡群への誘客推進 ○令和3年7月に世界文化遺産となった「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である、鹿角市の大湯環状列石と北秋田市の伊勢堂岱遺跡は、遺跡や隣接する展示施設の整備は充実していますが、来訪者の多くが求める飲食や土産物の購入等に関しては、十分対応できる環境が整っていないのが課題です。 ○そのため、遺跡を来訪した人や、遺跡への来訪を検討している人が、飲食や商品購入、近くの観光スポット等の周辺情報を容易に取得できるような情報発信ツールの開発など、遺跡見学からの快適な周遊、引いては誘客推進につながるような企画提案を募集します。	教育庁 生涯学習課 文化財保護室